

「桃園市民プール（室内）整備事業」
公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針

【対応方針】

計画通り実施

【対応方針決定の理由】

近年、健康志向への意識の高まり、高齢に伴う生きがいづくりなど、市民スポーツに対するニーズが多様化してきており、本市の「スポーツ振興計画」においても、スポーツ実施率及びスポーツ観戦率の向上を図り、スポーツを通じた元気なまちづくりの推進を掲げているところである。

桃園市民プールは、市内唯一の公認50m室内プールであり、競技スポーツや生涯スポーツ・健康増進を図る上で不可欠な施設として、本市のスポーツ振興において重要な役割を果たしている。

一方で、築50年を超えて老朽化が著しく、屋外プールの一部については漏水のため利用中止をしている状況である。また、サブプールや諸室が不足しており、競技大会の開催に支障が出ているなど多くの課題を抱えている。

桃園市民プールの位置づけは、「北九州市公共施設マネジメント実行計画」では一般競技大会に対応可能な公認プールとして存続することとしており、「北九州市スポーツ振興計画」ではオリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致に対応可能な施設として整備することと位置づけられている。

以上の経緯や課題を踏まえ、プールの再整備を行うことで、施設面の課題を解消し、一般競技大会に対応可能な公認プールとして、スポーツの振興はもとより、利用者の利便性・安全性の向上、さらには地域の魅力向上及び活性化を図るため、本施設整備の早期着工、完成が求められている。

なお、公共事業評価に関する検討会議を実施し、「事業を本計画どおり進めていくことについて異論はない」との意見と、今後の事業推進についての留意点が示された。示された留意点については、次のとおり対応する。

(1) 施設整備における基本的な考え方について

本市が定める「北九州市スポーツ振興計画」「北九州市公共施設マネジメント実行計画」を踏まえ、市内唯一の室内公認50mプールとしてスポーツ振興や市民の健康増進、大会等開催によるにぎわいづくり及び屋外プールの集約先となる施設として整備を進めていく。

また、オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致も見据え、着実に取り組みを進める。

(2) 魅力ある施設づくりについて

くつろぎスペースとして、エントランスホールやラウンジ等に休憩スペースを設けたいと考えている。

また、意見を踏まえ、利用者が満足し、魅力的な施設となるよう、観客席の一部仮設化や諸室の効率的な配置によるフリースペースの確保等、検討していく。

(3) 施設の仕様（エコ・ユニバーサルデザイン化）について

エコ仕様の設備については、採算性（初期費用及び維持管理費、補助金の活用など）、環境負荷、PR効果など総合的な観点から導入を検討していく。

ユニバーサルデザイン化については、だれもが利用しやすい施設となるよう対応する。

(4) 収益事業の活用について

現在、指定管理者が行っている水泳教室等の自主事業の充実等、指定管理者制度をどのように運営していくかを含めて、民間のノウハウの活用に向け、今後、より良い方法を検討していく。

また、以上について市民意見を募集したが、意見の提出はなかったため、本事業は計画どおり実施することとする。

なお、今後も引き続き、関係者（市水泳協会など）との協議・調整を行いながら、来年度からの実施設計及びその後の工事を進めていきたい。